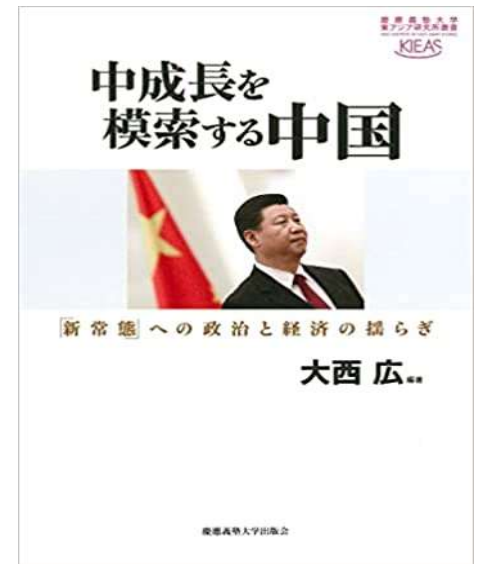
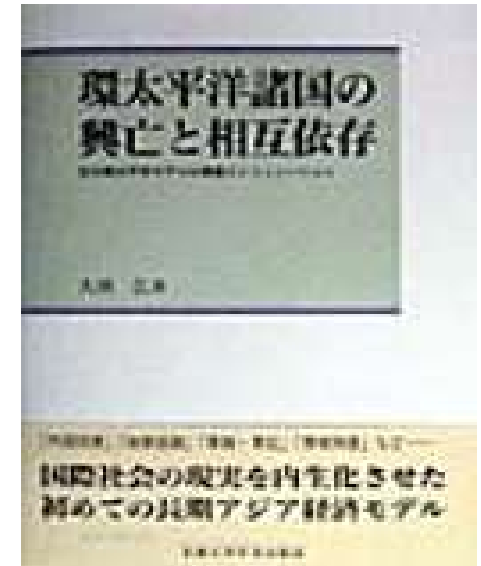


# 新疆ウイグル自治区 --民族問題の**実際と背景**--

慶應義塾大学/京都大学名誉教授

大西 広

# これまで出てきた中国関係の本 ①



# 現在の中国に存在する3つの方向性

ナショナリズム(外に向かっては大国主義、内に向かっては大漢族主義)

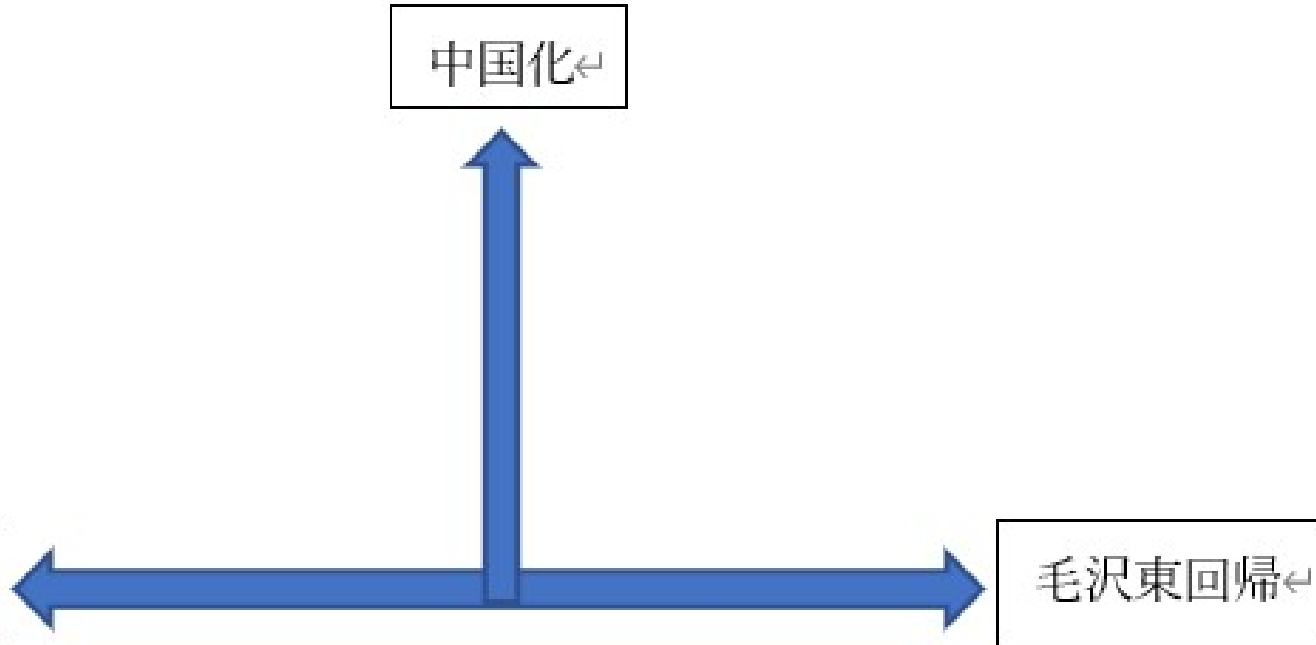
中国化←

西方化←

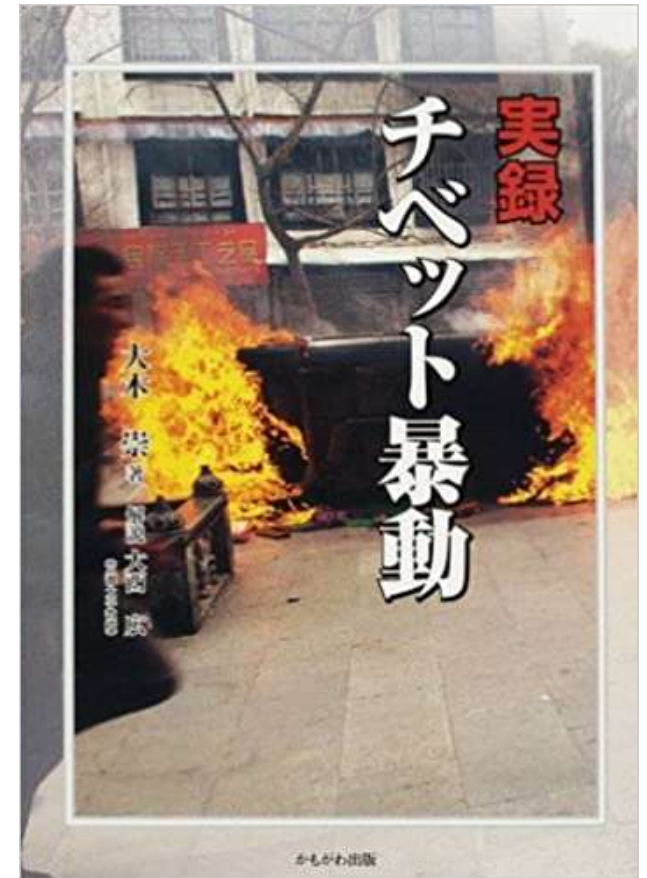
毛沢東回帰←

西方化=新自由主義

労働者階級の立場(人物的には薄熙来や党内「新左派」勢力)



## これまで出してきた中国関係の本②



# マルクス経済学者としての民族研究

## ●マルクス経済学にとって一番重要なのは「階級」

- だからこそ「民族」も研究する必要。

## ●1995年の新疆大学で体験した「民族差別」

- だからこそ「民族」をマルクス主義的に研究する必要。

## ●同時に、自国での「民族差別」にも正面から向き合う必要。

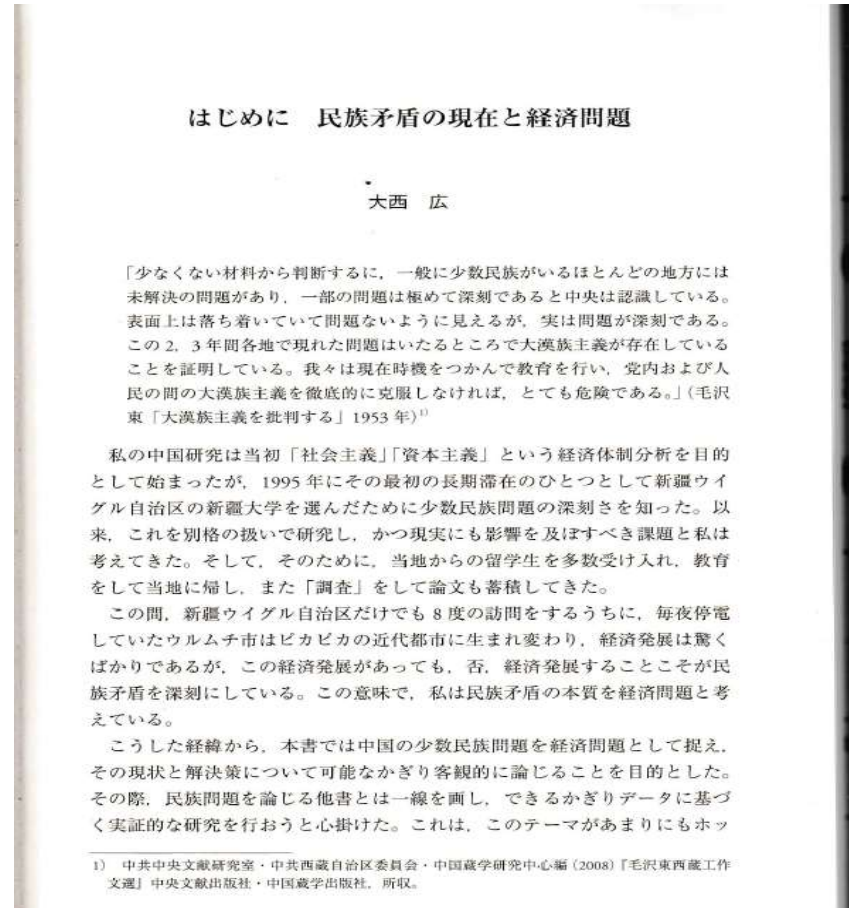
- 我々自身の国内の民族差別、民族認識が問われているということ
- 「琉球民族」やアイヌ民族への現在に至る差別
- 我々はこの点でもっとひどいことをやってきたということ
- その「成果」として日本の「民族問題」が厳しくないという事

(外国勢力が「少数民族の味方」という形で表れていないのも理由の1つ)

- 日本は残存する日本の民族問題を解決して初めて「**大漢族主義**」を批判できる事



それに加え、どのような言い方で我々は大漢族主義を批判できるか。⇒ 毛沢東の言葉を引用する。



1) 中共中央文献研究室・中共西藏自治区委員会・中国藏学研究中心編(2008)『毛沢東西藏工作文選』中央文献出版社・中国藏学出版社、所収。

# 毛沢東の言葉

## ①「大漢族主義を批判する」(1953年)

「少なくとも材料から判断するに、一般に少数民族がいるほとんどの地方には未解決の問題があり、一部の問題は極めて深刻であると中央は認識している。表面上は落ち着いていて問題ないように見えるが、実は問題が深刻である。この二、三年間各地で現れた問題はいたるところで**大漢族主義**が存在していることを証明している。我々は現在時機をつかんで教育を行い、**党内および人民の間**の大漢族主義を徹底的に克服しなければ、とても危険である。」

## ②「チベット工作と中央負有責同志に関する講話」(1956年)

「少数民族地区は党書記もまた少数民族であるべき」

(『毛沢東チベット工作文選』中央文献出版社,2008年に未収録だが・・・)

# 国連報告書とウイグル会議 の主張の異同

「大漢族主義の問題」を  
すべて「中国共産党の問題」  
としているのも問題

国連人権高等弁務官報告  
(通称バチェレ報告)

VS

ウイグル会議など西側の批判

• 再教育センター問題  
(「収容」の恣意性問題も)

- 集団就職の強制労働
- 一部宗教施設の破壊
- 人口不妊の強制
- 一部での中国語教育問題
- 「親戚制度」の実際上の強制

• 再教育センター問題  
(100万人ではないが・・・)

- 綿花摘みの強制労働
- 集団就職の強制労働
- 宗教の「中国化」
- 人口不妊の強制
- 「中国語教育は文化破壊」
- 「親戚制度」の実際上の強制

更には  
「ジェノサイド」  
の主張



# 4月8日、Human Rights Now+ウイグル 会議+阿古智子東大教授の記者会見



## そこでの彼らの主張

- 「**本人の意思で労務輸出に出たのか、そうでないのかは本当のところ分からない。**”強制労働”の考え方が日本と中国とで違う。しかし、我々のような考え方を向こうに普及していくのは大事。」(阿古教授)
- 「**各企業が強制労働の有無を調べても最終的にはその判断ができないだろう。**中国共産党支配下の中国だからだ。なので、最終的にはいかなる調査結果がでようと企業は中国から撤退してもらいたい。」(Human Rights Now役員)

# ウイグル会議情報 はどれくらい事実 と異なっているか

中国新疆でデモ  
「500人を逮捕」

08  
0401

台湾通信社報道

【台北＝新居耕治】台の新疆ウイグル自治区の  
湾の中央通信社は、中国「ホータンで三月二十三、

二十四日、千人近い住民  
による抗議デモがあり、  
中国当局が二日間で五百  
人以上を逮捕して鎮圧し  
たと報じた。ウイグル独  
立派の組織「世界ウイグ  
ル代表大会」のスポーク  
スマンが明らかにしたと  
いう。

同スポークスマンによ  
ると、デモ参加者の八割  
は女性で未婚女性を低賃  
金で強制的に働かせてい  
ることに抗議、政治犯の  
釈放なども求めたとい  
う。

# 1000人のデモ会場？



# その内部





# 2009年7月7日のウルムチ反ウイグル暴動 についてのウイグル会議情報

- 「新疆医科大学で4人の女子学生が首を斬られて木に吊り下げられた」！

（『週刊文春』7月23日号もほぼこの内容を報道）

- 「ウルムチ暴動の写真」に湖北省や中東での写真が使われる。

Gulistan Eziz グリスタン エズズ @Ezuzu6

ウイグル人コミュニティからもらった写真です。はい裏付け証拠です。

人間の赤ちゃんの肉食べたいですか？なら中国に行ってください。




↑中国が胎児を食用肉にして売買していると主張。

**まったくのデマ!**

↑実際はベトナムの中絶された胎児を埋葬する団体の写真。当然ウイグルのウの字も無い。

Khả đến với không nghĩ mình sống được  
 Qua sự giới thiệu của chị Nhân, một thành viên của nhóm người trẻ làm công việc thiện nguyện "giải cứu" thai nhi bị chết tại các phòng khám sản khoa, chúng tôi may mắn được anh T.Q.Cường, người thành niên "đầu trục, sản trợ" đây mình nghĩ tâm cho thai nhi" trong đoạn clip gây xúc xao mạnh và hơi mới đây đồng ý hẹn gặp.  
 Cơ duyên để anh Cường đến với các bài như bị bỏ rơi rất tình cờ. Trong một lần đi thiện nguyện tặng quà cho các bé bị ung thư tại bệnh viện K3 Tân Triều, có người bạn đi với anh T.Q.Cường công làm nghĩa trang Đồi Các tâm rứa cho thai nhi. "Em có sự không?", người bạn ấy hỏi anh. "Ừ ừ". Và sau câu trả lời đó, anh có chuyện đi tìm cho thai nhi đầu tiên trên nghĩa trang.  
 Đốt trên tay những đứa bé đã hóa, nước mắt chảy ra vì thương cảm, anh Cường quyết gắn bó với công việc không ai trả lương và phải đi đêm về hôm này. Cái duyên, cái nghiệp đến, nhiều người biết đến anh, gọi anh đến nhận các thai nhi bị bỏ mẹ phả bố.

↑ 胎児食肉の証拠画像だって??



#ウイグルを知ろう #中村浩三  
 [対談]ウイグル弾圧は嘘で戦争プロパガンダ[3/3]

696 回視聴 • 2021/04/13

👍 23    💬 3    ➦ 共有    ≡+ 保存    ...

# 本日の基本的主張点

- 民族問題の本質は階級問題であること。  
⇒ **民族企業家**とともに、優秀な**教育者**や**行政幹部**の育成が重要
- 現代中国の美点でもある独特な官僚制度の問題が関わっている事  
⇒ 毛沢東が最も問題視したものの、規則の恣意的運用を主に問題とした「バチェレ報告」もこの筋で理解できる。(ex.派閥闘争)
- 党大会で「打倒」された「西側一辺倒派」。しかし、国民の間に強まるナショナリズムの圧力は強まっている。
- それをウイグル会議や西側の圧力が助長しているという問題。

「恣意的運用」が続く理由もここにある。ので、問題はこれらに抗して「民族融和」を進めること。

# ウイグル族の弟子と調べたウイグル族の階級的状況

この意味で  
「民族問題」  
は  
「階級問題」  
と言える

新疆ウイグル自治区の製造業に占める少数民族経営企業の比率

		漢族経営企業 (社)	少数民族経営企業 (社)	全体に占める 少数民族経営企業 (%)
北新疆	ウルムチ市	3,402	40	1.2
	カルマイ市	493	1	0.2
	チャンジー市	1,780	11	0.6
	石河子市	395	2	0.5
	アルタイ市	371	4	1.1
	イリ地区	1,321	64	4.6
	チョウチェック地区	674	12	1.7
	ボルタラ州	292	7	2.3
	小計	8,728	141	1.6
東新疆	トルファン地区	263	37	12.3
	ハミ地区	319	6	1.8
	小計	582	43	6.9
南新疆	バイングリ州	1,022	41	3.9
	キジルス州	36	36	48
	アクス地区	846	195	18.7
	カシュガル地区	540	228	29.7
	ホータン地区	154	199	56.4
	小計	2,601	699	21.2
計		11,911	883	6.9

(出所)「新疆工商企業名録2008」

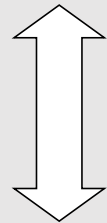
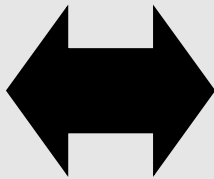
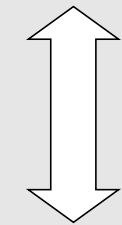
# 民族問題として現象する階級問題

漢民族

チベット族

資本家

資本家



労働者

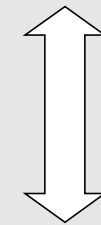
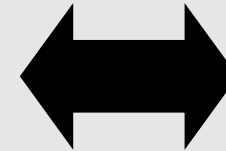
労働者

漢民族

ウイグル族

資本家

資本家



労働者

労働者

これが本当の  
「雇用差別」

「バチェレ報告」はこれが  
最大の問題であることが分  
かっていない。



# 言われている「強制労働」とは何か？

## ① 綿花摘みや集団就職が強制されているとの話

この内、綿花摘みについては20年くらい前に実際に調査した。

新疆大学所属学生の夏期休暇期間中の一種の「下放」

ただし、その場合もa)漢族も含まれていた。

b)新疆大学は派遣を断わった。

c) その後大部分が自動化(現在は95%)

## ② 再教育センターでの扱いの問題、その適用の恣意性の問題

# BBC報道の綿花摘み強制労働問題について



John Sudworth,  
“China’s ‘tainted’ cotton”

こちらは新華社  
の摘み取り報道



# 2009年ウラムチ暴動の契機となった 広東省工場への労務輸出に関する調査

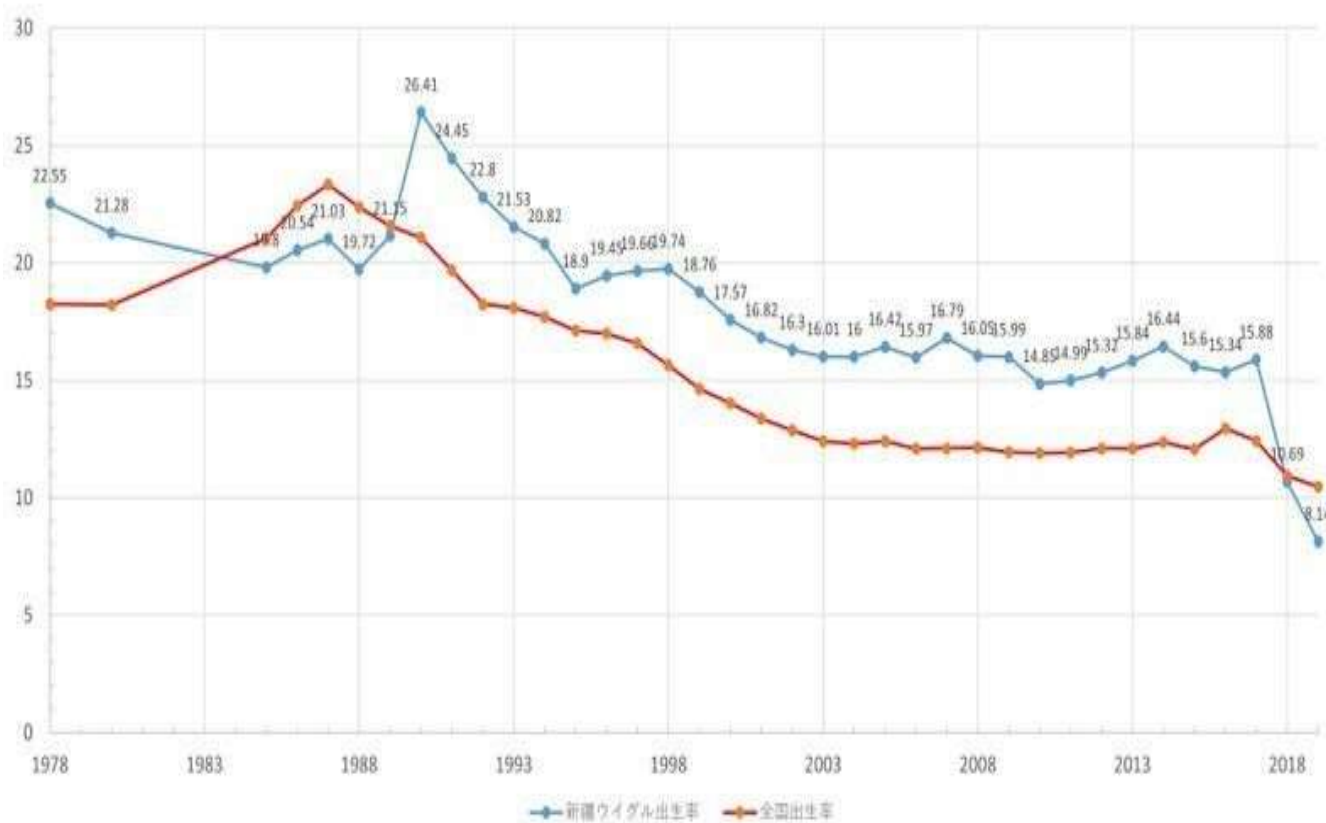


# カシュガル付近疎附県労務輸出の配慮点

- ① 宿舎にはイスラム用食堂と浴室。多くは無料の寮費。エアコン、給湯などの整備。
- ② 一部企業は食料補助金。ウイグル人シェフを同行。シェフへの様々な優遇措置。
- ③ 外傷保険、医療保険の整備。事故の際の補償。
- ④ 県幹部の現地への派遣、労働条件などの監督。
- ⑤ 試用期間も賃金を払う。工場が止まっても最低賃金は補償。賃金は勤務年数に応じて上げる。
- ⑥ 労働時間は8時間。殆どで週休も規定。
- ⑦ 工場までの旅費と親族訪問旅費の企業側負担。
- ⑧ 生活の状況を家族に知らせるためのDVD作成。
- ⑨ 県幹部子弟を率先して派遣。

# 2018年に不妊手術が急増し、出生数が急減。 東大丸川氏はこれを自発的なものと主張するが、 おそらく一部に強制もある。

新疆ウイグル自治区及び全国の出生率推移(1978-2019)



ただし、2019年には不妊手術は急減。  
この背景は、子供の数を減らすことで死ぬまで毎年600元もらえる経済的優遇策の結果との意見も。

⇒ 東大丸川教授



# 漢族と主要少数民族の人口変化

	2020年	2010年	2000年	平均年率 増加率
漢族	1,284,446,389	1,220,844,520	1137386112	0.646%
チワン族	19,568,546	16,926,381	16180000	1.047%
ウイグル族	11,774,538	10,069,346	8400000	2.009%
回族	11,377,914	10,586,087	9820000	0.793%
苗族	11,067,929	9,426,007	8940000	1.190%
満州族	10,423,303	10,387,958	10680000	-0.120%
イ族	9,830,327	8,714,393	7760000	1.334%
土家族	9,587,732	8,353,912	8030000	0.970%
チベット族	7,060,731	6,282,187	5420000	1.514%
モンゴル族	6,290,204	5,981,840	5810000	0.413%
プイ族	3,576,752	2,870,034	2970000	1.021%

十数年前に聞いた南新疆の学校現場での「民族抑圧事件」など・・・。**末端行政幹部には「強制」もある。**

- ① **ラマダンの最中に生徒に無理やり水を飲まそうとした話**
- ② **一部地域でのブルカやヘッド・スカーフの禁止もありそう。**
- ③ **一部地域での男性の「長ひげを禁止」という話もありそう。**

ただし、この間、相当数の動画や写真を見たところ、**髭を生やした男性やヘッドスカーフの女性を数多く見れた。**つまり、**全国、全新疆一律に行なわれている政策ではない。**末端官僚が昇進のために「忖度」して行っている強制であることがわかる。

# 本日の基本的主張点

- 民族問題の本質は階級問題であること。  
⇒ **民族企業家**とともに、優秀な**教育者**や**行政幹部**の育成が重要
- 現代中国の美点でもある独特な官僚制度の問題が関わっている事  
⇒ 毛沢東が最も問題視したもの。規則の恣意的運用を主に問題とした「バチェレ報告」もこの筋で理解できる。(ex.派閥闘争)
- 党大会で「打倒」された「西側一辺倒派」。しかし、国民の間に強まるナショナリズムの圧力は強まっている。
- それをウイグル会議や西側の圧力が助長しているという問題。

「恣意的運用」が続く理由もここにある。ので、問題はこれらに抗して「民族融和」を進めること。

# 民族問題の起源は民衆の中にある(in内蒙古)

## 「モンゴル族の命は安い」 デモきっかけは漢族運転手発言

中国の内モンゴル自治区東部シリンホトなどで相次いだ抗議 デモは、モンゴル族の男性をダンプカーではねて死亡させた漢族の男が「モンゴル族の命は安い」と、侮辱的な発言をしたのがきっかけだったことが地元住民の話で分かった。この発言がメールやブログでモンゴル族の学生らに広がったもようだ。

(遊牧地域の方が摩擦は大きい)

死亡したのは、炭鉱開発による自然破壊に反対するグループのリーダーで遊牧民のメルゲンさん (35)。シリンホトの東にある西ウジムチンで十日、ダンプの激しい往来が住民の生活を脅かすことに抗議し、運転手らとトラブルになった。

メルゲンさんはダンプに故意にはねられ、約百五十メートル引きずられた。 運転手は事故現場で「賠償金は最高でも四十万元(約五百二十万円)にすぎない。保険も入っているから問題ない」と発言。 いったん逃走したが、警察に逮捕された。

十五日にもシリンホトの西にあるアバグで、石炭会社の作業車による交通事故が発生。相次ぐ事故と運転手の発言などが、鉱山開発に不満を抱くモンゴル族を刺激したようだ。

2011年 [東京新聞] 5月30日

## 補足① 言語政策について

- 大学進学「下駄」は「下駄」ではなく「他言語・他文化理解の正当な評価」と漢族に理解させる必要。
- 「少数民族の漢語教育」とともに漢族への少数民族語教育の必要性。  
(アイヌ人関根摩耶さんも日本で主張)
- 日本を含む大学も、「民族差別」によって中国の漢語教育強化をしていることへの反省も必要。

## 補足② イスラムへの党内外の「誤解」を解く

- イスラムのマルクス主義的理解を確立し、ムスリムと共有する



## 補足③ イスラム原理主義のテロが如何に恐ろしいか

### 2009年7月ウルムチ暴動



これは  
人殺し

### 2008年 ラサ暴動

これは  
焼き討ち



# この現場で起きた殺害事件を取材

